Asake Junior high school

和学鍛

朝明中学校通信
令和5年5月12日号

ゴールデンウィークが終わり、子どもも大人も少しお疲れ気味の5月。そんな中、3年生は今月末の修学旅行に向けて、着々と取り組みをすすめています。東京での活動を思い描き、生き生きと話し合う表情が何ともほほえましい。一方、来週には中間テストがやってくるため、テスト初心者の1年生は少し緊張気味にテスト計画を立てていました。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、少しずつ日常が戻ってきた学校生活です。引き続き体調管理に気を付けつつ、仲間との学び合いを大切にしていきたいものです。

「うれしい！楽しい！道徳大好き！」 ～道徳研究授業より～

本校は、昨年度から国の道徳研究指定を受けています。9日（火）の午後は岐阜聖徳学園大学の山田貞二先生をお招きし、2年生の1クラスで道徳研究授業を行いました。

『まだ食べられるのに』という教材を使い、食品ロスの話題から社会連帯について考えていきます。…ところが、前号でも紹介したとおり、朝明っ子は給食を残さない！　当日も残菜0で、授業をしていただく山田先生には前情報として「みんなよく食べるので…ロスがありません」とお伝えしておきました。

授業が始まり、「道徳は好き？」との問いかけにタブレットの「心の数直線」で答える生徒たち。

その後、なぜ食品ロスが起きるのか、減らす方法は何かなどを考えました。「隣同士で話して」「書いたものは読まないで、自分の言葉でどうぞ」など、先生の言葉に促され、それぞれの考えをのびのびと伝えあっていました。自分なりの答えは見つかったかな？

◆本校学校づくりビジョン（めざす生徒の姿）の目標のひとつ

「主体的に考え判断し、自律的に行動することで自分を鍛えていこう」

今の世の中、答えがひとつとは限りません。そんな将来社会を生きていく朝明っ子たちには、普段から、「自分で考え決断すること、そして行動し、その行動に責任を持つこと」が大切であると伝えています。学校で出会う小さな問題を仲間とたくさん解決することで、「自律」し、自分を鍛えてほしい。

お家でもお子さんと一緒に「我が家の食品ロス」問題から世界をのぞいてみてください。

みんなが学校づくりの当事者に

～第1回コミュニティスクール運営協議会より～

9日(火)、本年度の第1回コミュニティスクール運営協議会がありました。委員の皆さんに授業を視察いただいたあと、学校づくりビジョンの承認や子どもたちの様子について、ご協議いただきました。

委員の皆さんからは「コロナのせいか、授業のようすがおとなしい」「授業や地域行事など積極的に参加して、自分の思いを表現していくことが大切」「廊下に掲示された掲示物のメッセージに感動した」など、様々な角度からご意見をいただきました。学校、保護者、地域が学校づくりの当事者として、ともに協力していきましょう、と力強いお言葉もいただきました。今年一年よろしくお願いします。

熱中症予防

自分の身体と向き合い、自分を守ろう

日中の気温・湿度が上がり、熱中症のリスクも高まってきます。その時、その場所によって、また個人の体調によって熱中症のリスクは大きく異なります。コロナが5類に移行され、マスクの着脱は個人の判断にゆだねられたものの、着用している人も少なくありません。

こんな時期だからこそ、マスクの着脱や水分補給のタイミングについて、自分の身体と向き合い、自分で判断して行動しましょう。熱中症は命にかかわる危険のひとつです。

なお、熱中症対策としてスポーツドリンク等の持参は可能です。また、学校の水道水は、環境衛生検査を適切に実施していますので飲用できます。

当面の行事予定

- 5/17(水)18(木)　中間テスト
- 5/18(木)　1年交通安全教室
- 5/23(火)～25(木)　3年修学旅行
- 5/23(火)　1年防災教室
- 5/24(水)　1 年救命講習
- 6/2(金)3(土)　1年自然教室
  ※ 5(月)　1年代休
- 6/13(火)　3年環境未来館見学
- 6/21(水)～23(金)　期末テスト
- 6/26(月)～30(金)　学校公開週間
- 7/11(火)～13(木)　1学期三者懇談会

情報伝達のデジタル化をすすめます

四日市市立小中学校では、欠席連絡アプリ H&Sを活用しています。毎朝の始業前後に、先生たちがアプリをチェック。500 人を超える全校生徒の出欠状況をわずかな時間で把握することにより、子どもたちの安全管理を行っています。欠席されたご家庭については、メッセージ既読になればチェック完了です(基本的に返信はしません)。また、本年度から、部活動の欠席連絡にも H&S の活用を始めています。

さらに、全学級・全教科の Google Classroom 作成をすすめています。子どもたちは、1人1台端末を活用して、クラウド内の教室で担任や担当の先生・友だちと情報を共有していくのです。

紙のよさ、デジタルの強みなど、目的に合わせた手段を選ぶのも大切な「自律」。今後は、学校からご家庭に向けた情報伝達(通信や説明資料など)のデジタル化もすすめていきたいと考えます。